

# 平成24年度 学校自己評価システムシート ( 県立 越谷総合技術高等学校 )

目指す学校像 (教育方針)	社会に貢献する産業人を育成するために、自ら進んで学ぶ礼儀正しい生徒を育てる
重点目標 (努力点)	1 学ぶ姿勢作りを大切にし、自ら行う学習習慣を確立させる 2 挨拶、言葉遣い、約束を守り、部活動を積極的にを行い、命を大切にする生徒を育てる 3 一人一人が自己の将来を見据え、希望する進路を実現する 4 保護者・地域に学校の情報を発信し、本校の理解を進める

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	8名
	生徒	10名
	事務局(教職員)	9名

学校自己評価						
年度目標			年度評価 (1月16日現在)			
番	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度のアンケートでは82%の生徒が授業を理解できていると回答している。</li> <li>77%の生徒が授業に興味関心があると回答し、83%の生徒がシラバスの内容を理解している。しかし主体的に取り組める生徒は少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学力向上のための取組</li> <li>魅力のある授業の推進</li> <li>生徒のコミュニケーション能力を育成する授業展開</li> <li>主体的に取り組む意欲と態度を育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①授業時間の確保</li> <li>②指名補講の実施</li> <li>①授業研究週間を活用し、研修を行う。</li> <li>②シラバスを活用した学習ガイダンスの実施</li> <li>①協調学習など生徒が主体的に取り組める指導法の研究</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①授業内容の理解度は昨年度より増しているか。</li> <li>②成績不振者は昨年度より減少しているか。</li> <li>①②シラバスの理解度と活用度は昨年度より増しているか。</li> <li>①協調学習等の研究授業の実施とその有効性を検証できたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ほぼ満足できる結果となった。</li> <li>①授業内容の理解度 82%→85%</li> <li>②成績不振者 10.7%→9.2%</li> <li>シラバスの活用度と理解度は満足できる結果となった。授業研究週間をもっと活用したい。</li> <li>①シラバスの理解度 83%→87%</li> <li>②シラバスの活用度 100%</li> <li>協調学習の研究授業を実施できた。</li> <li>①コミュニケーション能力の育成と主体的に学習に取り組むことができた。</li> </ul>	A
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートでは挨拶が99%、身だしなみでは97%の生徒が「挨拶をしている」「身だしなみを整えている」と答えているが、挨拶の質という面では不十分などところがある。</li> <li>「交通事故の被害者になる可能性が高い」という認識が低い。また周囲への気遣いが不足している者も見られる。</li> <li>学年があがるにつれ部活動から離れてしまう生徒が目立つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶の励行</li> <li>身だしなみの徹底</li> <li>時間厳守</li> <li>交通安全意識の向上</li> <li>部活動への取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①授業、風紀委員・生徒会による挨拶運動の継続と充実、教員もきちんと挨拶をかける。</li> <li>②学校生活全体を通して挨拶・身だしなみ・時間厳守の必要性を指導。また、遅刻者に対する指導を確実に行う。</li> <li>①交通安全講話の充実と安全意識向上のための資料、情報提供</li> <li>①学期ごとに部活動加入状況・活動状況を調査する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①②状況に応じた挨拶、身だしなみができたか。</li> <li>①②時間を守ることができたか。</li> <li>①周囲の状況に応じた交通マナー励行</li> <li>①部活動加入状況、活動状況の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標を達成できた。</li> <li>①②挨拶、身だしなみ、時間厳守については概ね良好であった。</li> <li>新しい試みを行った。</li> <li>①生徒主体の自転車運転のマナーアップについての伝達講習会を行った。</li> <li>部活動の参加を今後も働きかける。</li> <li>①部活動加入状況、活動状況の調査を毎学期行った。加入、活動とも低下傾向にある。</li> </ul>	A
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路指導全般の満足度は95.6%と高い結果となり、引き続き進路指導の充実を図る取り組みを実施する。</li> <li>不況及び震災の影響による先行き不透明な求人状況に対処するため、進路先との継続的な連携と積極的な進路先開拓の方策を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路自己決定力の育成</li> <li>自己表現力の育成</li> <li>面接指導の充実</li> <li>企業実習の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年に応じた進路ガイダンスの実施</li> <li>職業意識の醸成を図る講演会等の実施</li> <li>進路実現をサポートする学習指導面接指導、小論文指導、履歴書指導、資格取得指導の計画的実施</li> <li>生徒、保護者に対する情報提供、進路相談機能の充実</li> <li>進路先との継続的連携と積極的な進路先開拓</li> <li>大学、短大進学者に対する担当教諭の割り振り</li> <li>自らの実力を把握させ、学力向上の意識付けを行うため、定期的に実力判定テストの実施 (1,2年生実施)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路指導全般の満足度</li> <li>①就職内定状況</li> <li>②進学決定状況</li> <li>各進路行事に対する満足度</li> <li>①進路ガイダンス・面接指導</li> <li>②学科・卒業生、外部講師による進路講話</li> <li>①企業実習の効果度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路全体の満足度は3年連続増加し97.3%となった。</li> <li>①就職内定率97%</li> <li>②進学決定率97%</li> <li>芝工大2名。東京電大5名。工学院大学で、初めての合格者。</li> <li>満足度はほぼ満足できる状況である。</li> <li>①②各行事に対する満足度は、全体的に増加。</li> <li>キャリア教育としての効果があった。</li> <li>①企業実習では96.2%の生徒が進路選択に役立つと回答。</li> </ul>	A
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者アンケートでは、配布文書を見る割合は79%であるが、HPを見る割合は39%と低い。</li> <li>夏季懇談会の意義はよく理解されているが、参加率は、26%にとどまっている。</li> <li>毎年各学科等へ地域行事への参加依頼が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的な情報発信による、開かれた学校づくりの推進</li> <li>夏季懇談会の充実</li> <li>地域との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①HPのTOPページ、防災ツイッター、バナー等を改訂する。</li> <li>②外部を含め学校説明会等でHPやメールマガジンのPRをする。</li> <li>①夏季懇談会の日程・内容を改善し参加者数の増加を目指す。</li> <li>①可能な限り、地域行事等への積極的な参加に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①HPのアクセス回数前年度比増</li> <li>①HPの更新回数増加</li> <li>②メールマガジンの配信回数</li> <li>②メールマガジン登録者数の増加は増加したか。</li> <li>①夏季懇談会やPTA行事等への参加者の前年度比は増加したか。</li> <li>①地域の信頼、評価が高まったか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>概ね目標を達成できた。</li> <li>①②教育活動の様子をHPに随時掲載し更新回数を増やすことができた。</li> <li>メールマガジン配信回数 41回→44回</li> <li>メールマガジン登録者数 392→369名</li> <li>受験生の登録数が増加した。</li> <li>日程・内容を検討する。</li> <li>①夏季懇談会参加数は21%だった。</li> <li>中高連携を強化した。</li> <li>①昨年からはじめた中学生へのキャリア教育の回数を増やし、地域に貢献するよう努めた。</li> </ul>	A

学校関係者評価	
実施日	平成25年1月17日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>就職するにあたり、自分自身の強みは何かを明確にすることが大事である。就職は最終ゴールではない。プレゼンテーションとほいものを相手に与えることである。</li> <li>主体的に取り組む姿勢が弱いことは社会に出ると、致命的なことになってしまう。学生のうちに勉強するくせをつけないと就職してから伸び悩むことになる。就職してから勉強する事の方が多い。</li> <li>おもてなしとは気配りのことである。就職するときにはインターンシップを行うことが効果的である。就職の選択として、就職理由のステップを教えてほしい。親がなぜその職業を選んだかを伝えてあげるべきだ。何をやりたいかわからない求職者が多い。</li> <li>各学科の課題研究発表会を全体場で発表できないか？この学校評価懇話会と情報技術科の課題研究発表会の日程が重なってしまっている。</li> <li>生徒会と教員間の懇話会をやってほしい。</li> <li>課題研究発表会を見たいので、HP上で公開できないか。</li> <li>学科の課題が多く、そのために部活動を休むことになるが、そのような生徒には考慮し学科の姿勢を尊重し、部活動を運営している。部活動の参加を高めるためにも今後も継続してほしい。</li> <li>運動部員の減少は対応を考えてほしい。タテ割りの部活動の意義は大いに認められる。</li> <li>本校は災害時の防災拠点であるが、校庭に照明設備がないが、付けられないのか。</li> <li>高校生の場合、部活動をやってきたかが大事である。社会に出てからは、課題をどのようにクリアできるかが重要。内定率が高いのでびっくりした。総じて安定した学校だと判断している。</li> <li>出羽地区のイベントに生徒の協力してもらっていて感謝している。今後も積極的に参加してほしい。</li> </ul>	

